



令和5年7月7日(金)発行

校長 栗原 友恵

北九州市小倉北区昭和町16番1号

HP: www.kita9.ed.jp/nakashima-e/

TEL: (093) 921-1690

<学校教育目標>

体・徳・知 調和のとれた心身ともに健康な子どもの育成

<目指す子ども像>

○相手の立場に立って考える思いやりのある子ども

○すすんで学び、自ら考え、表現する子ども

○元気に学び、すすんで運動に取り組む子ども

<目指す学校像>

○安全な学校 ○温かい学校

○笑顔があふれる学校

○「中島小大好き」と言える学校

○成長(学習)し続ける学校

○保護者・地域・関係機関と連携する学校

暑さ指数(WBGT)に応じた運動や各種行事の判断基準

熱中症は梅雨明けなど急に暑くなったときに多く発生する傾向があります。これは体が暑さに慣れていないためです。北九州市教育委員会作成の「学校における熱中症対策ガイドライン」では、以下のように活動の判断基準が設けられています。中島小学校においても、この判断基準をもとに、熱中症に十分注意しながら毎日の教育活動を行っています。

暑さ指数	湿球温度	乾球温度	暑さ指数に応じた学校の対応 ※活動場所の暑さ指数を測定して判断する。
33℃以上			熱中症アラート発令 活動中止
31℃以上	27℃以上	35℃以上	活動を原則中止 ●特別の場合以外は屋外での活動を中止する。
28～31℃	24～27℃	31～35℃	厳重警戒(激しい運動は中止) ●熱中症の危険性が高い。激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 ●10～20分おきに日陰で休憩を取り水分・塩分補給を行う。暑さに弱い人は運動を軽減または中止。
25～28℃	21～24℃	28～31℃	警戒(積極的に休憩) ●熱中症の危険が増す。積極的に休憩を取り適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動時は日陰で30分おきに休憩を取る。
21～25℃	18～21℃	24～28℃	注意(積極的に水分補給) ●熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に休憩し、水分・塩分を補給する。
21℃以下	18℃以下	24℃以下	ほぼ安全(適宜水分補給) ●通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要。マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

避難訓練①集団下校訓練を実施しました!

6月7日(水)集団下校を実施しました。この集団下校は、避難訓練の一環です。例えば学校周辺に不審者がいるという情報が入ったときや、下校が危険なほどの大雨がもうすぐ降る予報のときなど、みんなの命を守るため、一人一人ばらばらに帰らず、みんなと一緒に下校します。以前お配りした『中島小学校通学路安全マップ』を使用して、ご家庭でもお子様と一緒にご確認ください。

★集団下校の通学路については、6月7日配付のプリントでご確認ください。

- Aコース 中央郵便局付近まで
- Bコース エイルマンション付近まで
- Cコース GPK 付近まで
- Dコース フォレスト付近まで
- Eコース 黄金市場付近まで
- その他 学童保育・放課後デイサービス

避難訓練②火災の避難訓練を実施しました!

6月14日(水)の2校時、火災による避難訓練を行いました。中島小学校は、令和2・3年度の2年間、防災・減災教育推進モデル校として様々な取組を行ってきました。また、昨年度は6年生(現中学1年生)が、防災・減災新聞を作成して地域に配布したり、学習発表会で避難の仕方などを発表したりするなどして、取組を継続してきました。また、火災による避難訓練では、昨年度より消防署の方々に講師として来ていただき、避難訓練の講評と消火器体験訓練を行っていただいています。

児童の訓練時の態度については、速やかに避難することができ、訓練がよくできているとお褒めの言葉をいただきました。消火器体験訓練では、4～6年生が3名ずつ挑戦しました。

今後の避難訓練では、休み時間等、全員が教室にそろっていない時間に設定するなどして、様々な場面での避難を想定し、訓練を行いたいと思います。

避難時の注意事項

- ① 放送で出火場所を確認して行動する。
- ② 2次災害防止のため、使用中の電気・ガスを消し、窓を閉める。
- ③ 防災対策(ハンカチ・タオルで口を押える)をし、頭を低くして避難する。
- ④ 上履きのまま、所持品は持たずに速やかに行動する。
- ⑤ 校舎内は速やかに移動、校舎外は走って移動。
- ⑥ 押さない。走らない。しゃべらない。戻らない。
- ⑦ 集合場所に着いたら、2列で整列。人員点呼する。